

## 総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問 （ 個 人 質 問 ）

【質問日】 令和 7 年 1 2 月 9 日（火）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1 5	犬 井 美 香	<p>1 教育行政について</p> <p>(1) 不登校支援の現状評価について</p> <p>ア 本市における過去3年間の不登校児童・生徒数の推移及び在籍児童・生徒に占める割合を示せ。</p> <p>イ 不登校児童・生徒数の推移をどう分析し、現行施策の成果と課題をどのように認識しているか。</p> <p>ウ 不登校児童・生徒の現状を受け、今後の改善策をどのように講じるのか。</p> <p>(2) 主体性・当事者性を育む学校教育への転換について</p> <p>ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を両立させるため、I C T 環境や人的配置を含め、教育環境をどのように整備してきたか。</p> <p>イ 教職員が児童・生徒の主体的な学びを支援できるよう、研修や組織体制の強化をどのように図ってきたか。</p> <p>(3) 公教育改革の推進体制整備について</p> <p>ア 児童・生徒を主体とする教育への転換を市としてどう考えるか。</p> <p>イ 障がいの有無に関わらず、全ての児童・生徒が安心して学校に通える環境づくりの現状の課題認識は</p> <p>ウ 配慮を必要とする児童・生徒への支援を、周囲の児童・生徒、教職員の理解促進をどのように進めるのか伺う。</p> <p>エ D E I 宣言からみる本市の今後の学校の在り方を示せ。</p> <p>2 糖尿病の医療連携体制について</p> <p>(1) 本市の糖尿病の有病率及び新規透析患者における糖尿病性腎症の現状と課題は</p> <p>(2) 生活習慣改善支援や保健指導、医療機関との連携施策等、糖尿病重症化を防ぐ具体策についての方針は</p> <p>(3) 医療機関、保健・福祉部門、地域との連携体制の現状と課題及び今後の方針は</p> <p>(4) 県の取組である糖尿病連携手帳の役割と連携の現状と課題は</p> <p>(5) 重症化予防に向け、医療情報連携のツールとしてマイナ保険証やかごネットの活用が考えられるが、現在の取得状況と活用の現状は</p> <p>(6) かごネットを更に推進し、糖尿病手帳の提示がなくとも血糖コントロールの状況や服薬情報を医療機関で確認できる体制の強化を検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>3 議案第184号に係る組織編成について</p> <p>(1) 市民視点からの重複業務解消や手続ワンストップ化の拡充とあるが、具体的にはどのように変わるのか。</p> <p>(2) 少子化対策・子育て支援強化のための部局再編が与える市民や職員への影響はどのようなものか。</p>
1 6	上 野 真 一	<p>1 農業者に対する助成金や農業施策について</p>

		<p>(1) 水稻を営む認定農業者に対するトラクター・コンバイン・田植機について、補助金の上限額及び助成率を示せ。</p> <p>(2) 近隣の市や町の助成額及び補助率はどのようになっているか。</p> <p>(3) 茶や果樹・園芸作物などを作付する農業者に対し、物価高騰対策の助成ができないか。</p> <p>(4) 米の施策について、今後市はどのように考えるか。</p> <p>2 企業版ふるさと納税について</p> <p>(1) 年度ごとの企業版ふるさと納税の寄附件数と寄附額を示せ。</p> <p>(2) 自治体と企業のかけ橋となるコンサルタントを導入できないか。</p> <p>3 妊婦に対する支援について</p> <p>(1) 年度ごとの市内の出生数と妊娠届出数を示せ。</p> <p>(2) 支援はどのようなものがあるか。</p> <p>(3) 医療費の助成を検討できないか。</p> <p>4 市職員不祥事再発防止策等について</p> <p>(1) 再発防止策検討委員会を設置し検討されているが、詳細とその後を示せ。</p> <p>(2) 個人情報の流出に対して、どのように再発防止を行っているか。</p>
17	坂口正幸	<p>1 本市の歴史的文化財について</p> <p>(1) 文化財の保存と管理について</p> <p>ア 本市にある指定等文化財の状態をどれくらい把握しているか。</p> <p>イ 文化財の劣化が指摘されているものについて、修繕計画の有無と優先順位の基準があるのか。</p> <p>ウ 文化財の維持について専門家の確保はできているのか。</p> <p>(2) 文化財の利活用・地域活性化について</p> <p>ア 文化財を観光資源として活用するための取組は</p> <p>イ 学校教育において、地元文化財を活用した学習は行われているか。</p> <p>(3) 文化財とまちづくりについて</p> <p>ア 歴史的景観を守るためのガイドラインは機能しているか。</p> <p>イ 文化財が存在する地域での災害への対応は十分か。</p> <p>ウ 文化財所在地域の危険箇所への対応は行われているか。</p> <p>2 薩摩川内市文化財保存活用地域計画について</p> <p>(1) 計画の意義・目的は</p> <p>(2) 甕島地域の文化財は計画に含まれているか。</p> <p>(3) 計画を作って終わりにしない仕組みは</p>
18	森永靖子	<p>1 市道風口・山田島線道路整備事業について、進捗状況を伺う。</p> <p>2 御陵下公園周辺の道路整備について</p> <p>(1) 進捗状況を伺う。</p> <p>(2) グラウンドでイベント等の開催時、道幅いっぱいには車が駐車し、他の車が通行困難であるため道路拡幅できないか伺う。</p> <p>3 グラウンド内に大型時計の設置を希望する声が多いが設置できないか伺う。</p> <p>4 御陵下公園の整備について</p> <p>・ 公衆トイレ横の小さな公園を広げて遊具、東屋、椅子等を増やす考えはないか伺う。</p> <p>5 食品ロスの削減について</p> <p>(1) 食べ残しを減らしごみを増やさないためにも、宴会時の30・10運</p>

		<p>動を徹底できないか。</p> <p>(2) 使い切りサイズ販売の取組を量販店と共有できないか。</p> <p>6 生涯学習活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから高齢者まで学べる市民大学講座ができないか。</li> </ul>
19	松澤力	<p>1 台湾との交流促進と海上自衛隊等の誘致による更なる地域活性化に向けて</p> <p>(1) 台湾との交流促進に向けて</p> <p>ア 台湾企業と日本企業が共同で、本市に日本最大級のA Iデータセンターを開設することは、台湾側にとっても重要な事業だと感じているが、台湾政府・行政等の今回の事業に対する反応を伺う。</p> <p>イ 今後、本市と台湾は、市長の方針の通り「友好都市との文化・経済交流」を更に促進することが非常に大切だと考えており、鹿児島県等の取組のように台湾の都市との友好交流協定締結を前向きに検討できないか伺う。</p> <p>(2) 海上自衛隊等の自衛隊関連施設の誘致について</p> <p>ア 本市のこれまでの自衛隊誘致による様々な地域活性化のメリットや人口増の面を、どのように認識・分析しているか見解を伺う。</p> <p>イ 今後、東シナ海の防衛強化のために自衛隊の体制強化も想定される。本市の更なる地域活性化を前進させるためにも、海上自衛隊等の新たな自衛隊関連施設を本市に誘致する取組を検討できないか伺う。</p> <p>2 本市の農業の現場サポート充実と新たな持続可能な農業について</p> <p>(1) 農業の現場サポート充実に向けて</p> <p>ア 本市の農業の生産現場の声として、繁忙期に一つの農家や企業のみで必要な人手を確保することが非常に困難になっていると聞いているが、農業の現場での働き手不足の現状・課題について伺う。</p> <p>イ 青森県弘前市では、農協と連携をして「1日農業バイトアプリ」の利用を市内のリンゴ農家に勧めて、繁忙期の農家と求職者を仲介して働き手確保の支援を行い、農家からも好評を得ている。本市においても、農業分野でのスポットワークが更に進むような仕組みを検討できないか伺う。</p> <p>(2) 青森県藤崎町では、閉校した旧藤崎校舎を利活用して2026年度から水耕栽培と魚の飼育を両立した農法「アクアポニックス」事業を導入する。アクアポニックスは、水耕栽培と水産養殖を掛け合わせた無農薬・無化学肥料・無除草剤の新たな循環型農業であり、本市で更にサーキュラシティを推進するために、事業者と連携して本市でも導入を検討できないか伺う。</p> <p>3 本市の介護施設の支援について</p> <p>(1) 本年10月31日、川薩地区老人福祉施設協議会と市議会で介護施設運営における様々な現状の課題について意見交換会を実施した。市長も、これまで介護施設を運営される方々との意見交換を重ねてこられたと聞いているが、どのように介護施設運営の課題を受け止められ、今後の具体的な支援策を検討されているか、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 本市の介護施設の運営支援策を今後検討していく上で、経営環境が厳しくなっている介護施設の現状・課題を更に把握していく必要があると考えているが、本市の今後の取組を伺う。</p> <p>4 本市消防局の救急体制強化と消防団の詰所更新の促進について</p>

		<p>(1) 消防局の救急体制強化に向けて</p> <p>ア 高齢化や夏の猛暑が続く中で、本市の救急出場回数の推移や救急内容の傾向などの分析について伺う。</p> <p>イ 今後、消防局の救急出場の更なる増加が見込まれる中、救急救命士の養成など期間が必要となる取組の強化や人員の増員等、救急体制を強化する施策を検討できないか見解を伺う。</p> <p>(2) 消防団の詰所更新の促進について</p> <p>ア 本市の消防団の各詰所の更新は、どのように検討が進められているか伺う。</p> <p>イ 川内中央北分団中郷部の消防団詰所については、川内川堤防沿いの立地であり、近年の集中豪雨による詰所の浸水リスクや老朽化の面から、早期の詰所更新が必要だと考えているが、今後地元との調整を含めて、どのような手順で詰所更新の検討を進めていく考えか伺う。</p>
--	--	---